제297호 1909. 12. 25.
(明治四十一年十二月二十三日第三種郵便物認可)（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年十二月二十五日　（土曜日）　第二百九十七號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

敢て天下の問題に非ず　旭川

李完用彿國教會堂前に於て刺客李在明の爲めに襲はれ、二箇所の創傷を被り經過甚だ憂ふべきものありと傳へらる。兇變にして痴愚なる朝鮮人に會つては兇器と雖ども世に在ますは刺され玉はび、試ま八面玲瓏として珠の如く、些の陰翳なき、伊藤公すらも、謬られてハルビンに兇彈に中りて薨去せられたり、然るに之れに反して、秘密と權謀との化身たる李完用の靈が、刺客の襲ふ所となりしは當然にして予は寧ろ其の遲かりしを怪まんと欲す。

完用の此の兇難に接して尤も迷惑を感じたるものを求めば、开は一進會ならん大韓協會となるべし、一進會員如何に怨なりと云ふと雖ども、人をして完用を刺さしむべしとは諾取れず、况して完用を刺したりとて政權の直ちに自己の手に移るべしとは思はざるべし、彼れ等にして吾人の思ふが如く愚なりとしても然り、况んや勇の如くにして怯、愚の如くにして賢なる所ある彼等は、必ずや此れを以て非常の迷惑となすなるべし、大韓協會に至りては、初め一進會と手を携へたるは完用の徒を脅かして之れと手を握らんが爲めにして一進會と提携せんが爲めにはあらざりしなり、後ち彼れと手を斷ちたるは即ち當初の目的に遡りて完用の黨に皆らんが爲めなりしは云ふを須ゐず、前者の企圖せりしは完用の手より素直に政權を奪取せんが爲めにして、強制的に物質的生命を絶はんが爲めにはあらざりしを知らざる可らず、後者に至りては自己一派の勢力が克く政權を收むる能はざるを知るものなれば完用と提携してこそ其の目的を達し得べきも決して一己一派の孤立を希望せるものに非ざるなきは論なし、然ればこれも又完用の遭難を迷惑とせるなるべし、矧んや世人は動もすれば彼の刺客の籍か一進或は大韓に屬するものなるを云ふに於てをや。

完用の災難は一進會に迷惑にして、大韓協會に不利也、其の災難の及ぼす利害關係に至りては之れに止まれり。若し之れを以て日韓關係に支障を來すかの如き大問題と思惟せるものあれば誤れり、完用の被れる災害は完用の災害に止まれり、然かも云ふ問題は刺客の自白に依りて解決せられざる可らず、予、愚なりと雖も日本人なり、彼れ賢なりと雖も到底韓人なり、此れの心を以て彼れを付度す、或は中らざる節なきを保せず、然れども此の刺客は一進、大韓何れにも屬せざるものなるは知るに難からず、此れ彼れ等の迷惑を察する所以也。

萬一其の刺客の系統にして彼の兩派の何れかに屬せりとせんか、予は其の不明を愧づれば足る。敢て天下の問題に非ざればなり。（廿三日稿）

雜報

北韓だより（三）

◆免税實施後と北韓　昨年五月二十六日に於て法律第十九號を以て淸津港より間島及び渾春方面に通過する貨物に對しては無税通過せしむるを得ると發布さるゝや議論交々湧出して容易に實施の運に到らず北韓民をして漸く疑惑の念を抱かしめたるが愈々來年一月一日より實施さるゝ模樣なり其の方法としては諸新聞に數々報導さるゝ如く國境に於ける樞要の地に監視署を設置し始め淸津稅關に輸入稅を支拂ひ而して國境に於ける監視署にて證明を得然る後淸津に於て曩きに拂込みたる輸入稅の拂戾を受くる事となり居れり然るに國境に於ける監視署は最初に六ヶ所の計畫なりしに計畫の關係上會寧及び鍾興の二ヶ所に決定せる由なり監視署設置問題に就いては聊か意見なき能はず即ち北韓の國境は僅かに豆們江を隔て間島及渾春に通ずる加ふるに冬季間は結氷して荷馬車或は牛車の通行を自由ならしむると尚國境に面せる地は山岳の如きは殆んどなきが故に一定の道路を變通せずとも何處の地帶を問はず牛車を以て貨物の運搬する事を得されば之等の便を惡用し奸商のために暴利を占めらるゝに至り其れがため正直なる商人は遂に資本までも倒産せしむるに至るやも慮るべからず例之淸津より間島に通過したる貨物が再び會寧まで挽戾し來る時は一行李に就いて無税なるに於てはかくの如く重複なる運賃を支拂ふも尚一圓餘の利益ありと云ふ然らば既往の北韓に溯りても亦自然と不正商人の出づるは當然なりとす故に本年一月一日より免税實施を見ば一面に於ては國境貿易上大なる發展を呈するは今更ら論を俟たざる處なるも又一方より觀る時は目下決定されたる如き二箇所の監視署にて不完全なる取締法なる時は折角企てられたる國境貿易も却つて益なくして害を及ぼすの怖れなしとせざるを以て普通商人間には最初計畫せし如く六箇所の監視署設置を切望し居れり現在の如く不完全なる取締法にては之等の機會を惡用して不正商人の北韓に向け續々入込む傾向あり現に法律第十九にて發布されたる當時に於て濡手に粟の暴利を得んと豆們江沿岸間島に四五人入込み時機の來るを待ち居るもの〻如し未だ實施されざるに於てすら斯の如し况んや實施後に於ては不正商人の入込むために本邦商人をして不信用に陥らしむるに於ては國境貿易に惡影響を被らざるべからずされば此際政府當局は充分な取締法を講じて良民をして安心裡に商買せしめん方法を執るは目下の急務なるべし（紅友報）

和歌募集

勅題「新年雪」　選者　九皐舘去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

俳句

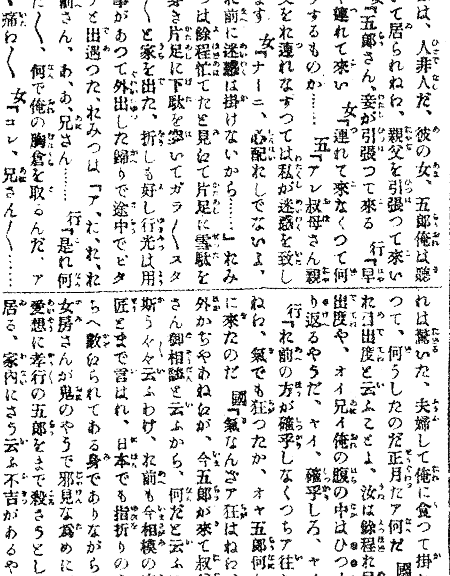
△歳末五句　千春

短冊の御題も出來て春隣
掛乞に知らしてあるや移轉先
礦區稅納めて春を待たれけり
又一つ豫算超過や年の市
奥の間は春にしてあり除夜の家

日本銘刀傳

第六席　邑井一講演

此時國光は食べかけた箸と茶碗をがらり放出して、腕組をして居たが、やがてハラ／＼と落涙致し　國「これみつ、聴いたか　女「聴かなくつてさ、能く聴いた、ク、ク、口も利けやしない、可憫想で……　國「いくらなさぬ仲だつて此奴が此位好くするものを殺さうと云ふは、人非人だ、彼の女、五郎俺は聴いて居られねえ、親父を引張つて來い　女「五郎さん、妾が引張つて來る　行「早く連れて來い　女「連れて來なくつて何うするものか……　五「アレ叔母さん親父をれ連れなすつては私が迷惑を致します　女「ナーニ、心配れしでないよ、れ前に迷惑は掛けないから……」れみつは餘程忙てたと見ねて片足に雪駄を穿き片足に下駄を穿いてガラ／＼スタ／＼と家を出た、折しも好し行光は用事があつて外出した歸りで途中でピタリと出遇つた、れみつは「ア、た、れ、れ前さん、あ、あ、兄さん……　行「是れ何だ／＼、何で俺の胸倉を取るんだ、アゝ痛ね／＼　女「コレ、兄さん／＼……



行「オイ／＼氣でも狂つたのか、さうこづきなさんな、又夫婦喧嘩でもしたのか、手前は幾歳になる　女「何でも宜いから一所に妾の家へ來てれ呉れ　行「往く／＼、何も夫なに胸倉を取らなくつても宜い、逃げやアしねえから……　女「れ前のやうな人は、逃げるかも知れない　行「其樣な卑怯な眞似をする氣遣はねえ　女「まア何でも宜いから早くれ出で……」と到頭家へ連れて來た　女「さア家へ來たれ這入り……」格子を開けてポンと突込む　行「オイ、國光女房さんが大變な權幕で、俺の胸倉を摑めて離さねえんだが何うしたんだ　國「ヤイ、何でえ汝は餘程正月だな　行「是れは驚いた、夫婦して俺に食つて掛かつて、何うしたのだ正月たア何だ　國「れ目出度と云ふことよ、汝は餘程れ目出度や、オイ兄イ俺の腹の中はひつくり返るやうだ、ヤイ、確乎しろ、ヤイ　行「れ前の方が確乎しなくつちア往かねえ、氣でも狂つたか、オヤ五郎何しに來たのだ　國「氣なんざア狂はねえ、外かちやあねえが、今五郎が來て叔父さん御相談と云ふから、何だと云ふと斯う／＼云ふわけ、れ前も今相模の宗匠とまで言はれ、日本でも指折りの女房さんが鬼のやうで邪見な爲めに可ちへ歎ねられてある身でありながら、愛想に孝行の五郎をまで殺さうとして居る、家内にさう云ふ不吉があるやうでは、れ前の鍛つた鍔がいくら名劍でも、さう云ふ内輪に疵があつては、日本人は義に弱い性質ゆゑ、コリヤ相州の行光だと云へば、位の高い公家武士が腰にも佩いて下さるし、土藏へも秘めて貰ふが、兄貴今此仕儀で此の五郎が井戸川へ這入つて、變つた死方をして見な、義に走るが日本人の常、行光は刀は切れるが品行が惡いと云ふ評判が立たら、れ前の鍛冶た刀の中へ大きな疵が出來るだらう、係りや繋がる師匠の名や俺の名前にも響きが來る、此始末は何う付ける氣た、れ前は相模國の宗匠だ天子樣の御番鍛冶だと持て囃されるが、俺も刀を鍛冶事じや、れさ／＼人には負けね氣だが、人氣を取るのが下手故に、鍬や鋤を鍛つて居るが腹の中は阿兄れ前の樣に腐つては居ねへぜ、不順の順たる刀鍛冶の德として自分は死んで身体無く共、鍛へた刀には千萬歳の末までも砥數さへ逃れりやあ殘つて居るのが俺等の德だ」行「國光よ此の行光は立場を失なつた穴が有なら這入りてえ、五郎をれ秋が憎むのは氣が注ねえじやあ無いけれども、毒害迄とは知らなかつた、知つての通り森川が金を捨て呉たればこそ、俺の出世、今更繼子を憎むからと離緣をすれば出來もするが、夫じやあ餘り浮薄のやうだ、老先知れた森川馬之丞が亡人に入た以上は、古い草鞋を脱も同樣、最う二三年の其間五郎を此家に預けて置かう、世の中で義理と云ふ二字程つらいことはない

東京電報

▲開院式へ御臨幸　天皇陛下には第二十六回帝國議會開院式へ行幸あらせられ貴衆兩院正副議長以下各員正門に整列して奉迎し內閣各大臣及各院長以下貴族院の玉座に就かせられ[illegible]各員の起立敬禮を受け玉音朗かに優渥なる勅語を賜はりたり（廿四日）

▲兩院部長の決定　貴衆兩院部長左の如く決定せり（同上）
（貴族院）第一部三條公美、第二部[illegible]、第三[illegible]、第四[illegible]川鐐之、第五德川賴倫、第六[illegible]原武雄、第七[illegible]、第八[illegible]
（衆議院）第一遠藤吉平、第二小澤[illegible]武雄、第三中村啓次郎、第四[illegible]、第五[illegible]、第六大井[illegible]新、第七加藤正明、第八[illegible]

▲開院式と奉答文　東京　別項天皇陛下本日帝國議會開院式に際し[illegible]下御臨幸勅語を賜はり兩院は[illegible]直ちに奉答文を決議せり（同上）

▲兇報と對韓論調　東京　諸新聞は今回の兇報に接し孰れも頗る重大視して李總理の落命後の對韓策に就き[illegible]林前外務大臣の如きは最も强硬なる合併說を主張し此際合併を斷行するも何等外國の干涉を招かざるべし故に速かに決行して韓國の平和を保つ可しと熱心論じ居れり

▲薩摩運轉の好果　倫敦　艦薩摩の公試運轉は好結果にて[illegible]を終り明年一月下旬頃[illegible]航の豫定なり

▲三參與官の任命　池田十三郎、國分象太郎、小松綠の三氏は統監府參與官に任命せられたり

▲秋月大使の兼任　倫敦　駐箚特命全權大使秋月左都夫氏は[illegible]西國公使を兼任せられたり（同上）

歐州電報

▲露警視總監の暗殺　聖彼得堡市警視總監は爆裂彈を投ぜられ慘殺せられたるが多分虛無黨の所爲ならんと推測さる（廿四日着）

雜報

似非志士の系統
ポセット灣の悲劇

兇漢李在明の訊問は目下其筋に於て[illegible]なく進行し一方連類の系統に就ても[illegible]審なる取調を行ひつゝあるが[illegible]等似非愛國志士等の陰謀は殆んど[illegible]行せられ所謂霧中[illegible]り更に大なるが如[illegible]公加害の兇漢安重[illegible]統の連絡有無を斷[illegible]さるも彼の自白に[illegible]るもの〻如く又彼[illegible]るより察すれば久[illegible]は事實にしてスチ[illegible]出明雲の一派たる[illegible]つ彼が使用せる兇[illegible]兇たるより見るも[illegible]の排日系なるべし[illegible]無が如何に其目的[illegible]を見るに嘗つて小[illegible]漢安重根が平壤に[illegible]營み失敗の極家財[illegible]り李範允一派の排[illegible]し浦港に入り李範[illegible]村を誓ひ同志十名[illegible]締結の五賊大臣及[illegible]元帥會禰副統監長[illegible]んと謀り時機の熟[illegible]んとてポセット灣[illegible]登は擧銃を放ちて[illegible]に努め夜は灣頭[illegible]先を浴びながら慷[illegible]名指を切斷して[illegible]しつゝ徐ろに時機[illegible]課の如何に信仰的[illegible]かる悲劇は在外排[illegible]は[illegible]れ居るなり近く[illegible]氏及伊藤公を失[illegible]極みにして爾かも[illegible]を現實せる韓國は[illegible]面に亘り居るが[illegible]と謂ふべし

李完用氏の容態
菊池大韓醫院長直話

李總理入院後の容態に就き大審院長菊池博士の直話によれば右肩の刀尖は右[illegible]貫通孔を檢すれば[illegible]するを見る其結果[illegible]のにして甚だ恐る[illegible]而して此貫通傷[illegible]肺部の傷を檢する[illegible]達し居らざるも創[illegible]にして假令肺部の[illegible]致命傷たるの價値[illegible]寧ろ良好の方にし[illegible]さるも決して安心[illegible]異變態を氣遣ひ居[illegible]物を悉く排除し充[illegible]されたるも如上の重[illegible]知すべからざる危[illegible]ふべし假りに豫後[illegible]て憂慮すべき變態[illegible]恢し得るまでには[illegible]過を要すべしと云々

來年度の總豫算

韓國政府明年度の豫算は過日の參與官會議に附せられ二十三日の閣議に上りて愈々決定したるを以て統監の承認を經兩三日の內に發表の筈なるが其の大略を示せば左の如し

歲入經常部	一四、七六二、八三七圓
同　臨時部	六、一三三、八四一
合計	二〇、九一五、六七八
歲出經常部	一五、三九五、二八〇
同　臨時部	五、五二〇、三九八
合計	二〇、九一五、六七八

以上は歲入出に關する全豫算額なるがこれを各部に細別すれば

△經常部

皇室費	一、八〇〇、〇〇〇圓
內部所管	四、五五五、二三四
度支部所管	八、八八九、七〇三
學部所管	四二九、一九八
農商工部所管	七二一、一四六
合計	一五、三九五、二八〇

△臨時部

內部所管	七三三、〇五三圓
度支部所管	三、九〇五、五三〇
學部所管	七二一、四〇〇
農商工部所管	六六三、四一六
合計	五、五二〇、三九八

以上各部の歲出豫算に於て皇室費に前年より三十萬圓を增加したるは親衛府の費用を皇室費より支辨するが爲めにて臨時部に於て內部所管にては水道及道路工事の繼續費にして新たに事業の起るものなり次に度支部所管に於ては各廳々舍新營費四十二万圓前年よりの稅關工事費と金融組合資金三十萬圓臨時工事費五十万五千圓にて是れは前年度より二十七萬圓を增加し憲兵補助員費九十八萬圓等重なるものなり而して學部所管に於ては新たに實業學校の新設費五校分と學校々舍修繕費等主なるものにて農商工部は蠶業獎勵費種苗場二ヶ所の增設商工業調查費等なり次に

▲經常歲入中重なるものを擧ぐれば

地稅	六、三二九、九二九圓
關稅	三、一三六、八四四
戶稅	五九一、三三六

にて租稅の總額は一千百五十六萬五千五百九十二圓なるが前項に記載せしもの〻外煙草稅、家屋稅及酒稅其他は其の重なるものなり次に▲臨時歲入は農工銀行より借入れたる百八十萬きに興業銀行より借入れたる百八十萬磅の借款を繰り入るゝものなり而して前年度豫算との比較を見るに歲入經常部に於て三十九萬六千圓を減少したるが這は官業及官有財產等の雜收入に於て減少したるが故なり然れども租稅に於て二十三萬圓驛屯土收入十三萬圓印紙收入五万圓を增加したれども尙雜收入の減額は總体に於て右の現象を示せり次に歲入臨時部に於て前年度より減額を示せしは公債繰入金四百萬圓と日本政府よりの借入金二百五万餘圓等の費目なきによりしが爲なり歲出經常部に於ては二百八十六萬一千五百七十二圓を減少したるが這は法部所管百八十七萬圓公債元金償還百万圓を減少したるが故なり次に▲歲出臨時部に於ては五百四十四萬三千二百九十九圓を減少したるが這は治道費水道工事費年割額度支部所管の營繕費、帝室債務支拂金金融組合資金二十萬圓及び貸付金等を減少したる爲めなり

三參與官の新任

別項東電の如く統監府參與官特別任用令改正の結果一昨二十三日附を以て左の通り任命せられたり

統監府書記官
兼統監秘書官　國分象太郎
統監府書記官　小松綠
通信管理局長　池田十三郎
兼任統監府參與官（高等官二等）

統監東上の確定

曾禰統監の東上期に就ては某新聞紙は延期されたりと傳へたるも右は何等かの間違ひにて豫定の如く來月三日當地を出發すべしと確聞す

時局問題 演說會の延期

時局問題研究會の發起により明二十五日歌舞伎座に催さるべき時局問題演說會は其筋の命に依り延期する事と成り

●各道寺院僧尼調查

付最近內部の調查左の如し

漢城府寺二十五、僧尼三百八十五、△京畿寺百十二、僧尼六百十四△忠淸北道寺三七、僧尼百四十二△忠淸南道寺六十五、僧尼三百三十△全羅北道寺九十八、僧尼三百九△全羅南道寺五十四、僧尼五百三十八△慶尙北道寺百四十六、僧尼九百十五△慶尙南道寺百六、僧尼千三百九十七△黃海道寺五十八、僧尼百[illegible]△平安南道寺四十二、僧尼四十一△平安北道寺八十四、僧尼百六十一△江原道寺五十七、僧尼五百三十九△咸鏡南道寺四十六、僧尼三百五十七△咸鏡北道寺二十五、僧尼百二十九、計寺九百五十七、僧四千九百二十八、尼五百六十三、合計五千六百八十一人也

●兒玉書記官東上期

政府委員に任命せられたる兒玉統監府書記官は來る三十日京城出發鄕里德山に立寄り宮島にて曾禰統監を迎へて東上する豫定なりと云ふ尙統監の發程は別項記載の如く一月三日の豫定なるが家族引伴れ東上せらるべしと確聞す

●農林講習所卒業式

平壤農林講習所にては過般來卒業試驗中の處一兩日前に終了せるを以て廿五日午后一時より卒業證書授與式を擧行すべし成蹟は取調中にて卒業生徒數不明なるも受檢者は六十余名なりしと

●兇漢監獄に收容す

李完用を刺したる犯人李在明は警視廳訊問課の一室にて太腿の負傷に加療しつゝ訊問を繼續し居たるが二十三日夜十數名の警部巡查等に護衛せられ鍾路なる京城監獄署に收容されたりと

●韓國稅制書類編纂

度支部司稅局に於て上古代より最近に至る迄の韓國稅制に關する万般の材料を網羅し完全なる大稅制考編纂中なりしが已に脫稿印刷中にありと

●各大臣の病狀慰問

二十三日李首相が大韓醫院へ入院するや各部大臣は午後二時より二時四十分頃迄に前後して大韓醫院に赴き弘化堂第一號室に安臥せる李首相を見舞へり

●警察署長會議開催

昨二十三日警視總監邸に於て警視廳管內各警察署長會議を開き時局に關する問題に就き凝議する處ありたりと云ふ

●慶南の郡主事會議

慶尙南道管內郡主事會議は過般開催せられ飯田內部部長の訓示あり後會計庶務勸業土木敎育に關する件を討議せり

●兇漢連類者の保釋

伊公加害兇漢の連類安商浩なる者は神經衰弱に罹り二三日前保釋を許さる

▲朴泳孝の近況　濟州島に在る朴泳孝の近況に付き聞く處に依れば今や彼は其熱中せる果樹園の培栽に餘念なく自ら鋤鍬を取りて栽培に從事し又は該園より其他里道に通ずる約三丁餘の道路を開鑿し或は園の周圍に樹木を植へ防風の準備をなし等殆んど永久的果園の經營に他事なく目下喧しき合邦問題の如きも別に耳を傾けず雲烟過眼視し居れり更に聞く處によれば彼の宅には同島在住の韓人は勿論各地より入島の韓人は必らず訪問するを例とすれば是等訪問者の如き妻女其他婦人が訪問者に向て島地の僻陬にして生活に不自由なりとの意を洩す故彼も又其意ならんと無稽の流言をなすこと等より絕へず種々の風說の起るものならんと云ふ

東拓金融部の現況

今期議會に於て條例改正案を提出し金融額の增加を行はんとの計畫ある東拓會社金融部の現狀に就ては杳として其消息を知る能はず之を同社に質せば個人の信用を沮害するの虞ありとて明答を得ざりしが今確實なる方面より探聞する處によれば創業以來去月末日迄金融の申込に接したる總額は二百十七萬圓に達し其內條件の不備又は其他の理由により拒絕したる額は九十六万圓貸付現在額は僅かに十三万七千圓に過ぎず而して申込額に對する尙ほ百九萬三千圓の殘額は處分未濟若くは熟考中のものに係る由尙ほ同社申込者に對し貸出規則により調查上必要の旅費又は其他の費用として徵收したる額は總額三千五百圓以上に達せりと（電通）

●東拓會社と小作人

既報東大門外の農民百餘名東拓會社に押寄せたる事件に就き東拓側の說に依れば元來東大門外の洪陵田は故閔妃の陵墓を管理する爲に宮內府より陵軍なるものを置き該洪陵田を無償貸付して俸給に代へたるものなるが陵軍等の多數は之を他の小作人に轉貸して收穫物は折半し自ら耕作することなくして衣食したるものなり然るに今春に至り內府は陵軍を解散して爾後耕作する者には一人十五圓耕作に從事せざるものには三十圓を交付したり斯くして度支部にては該洪陵田の一部を東拓會社に引繼ぎ會社にては小作人を代表する頭民を立會せしめ土地引繼の由來及會社經營の主旨を懇々說明したる上小作料は先例によれば收穫物を折半すべきも附近蠶島の例に倣ひ收穫物の十分四に止めんとしたるに頭民等は反別等級に從ひ小作料を一定せんことを望み双方協議の上夫々小作料を定め前年よりは著しく小作料を輕減したれば多數の小作民は非常に東拓會社を德とするに至れり然るに舊の陵軍中無賴の輩は從來勞せずして利益を貪りたれば再び宮內府所管に移さんと運動し又無智の小作人を煽動して更に大に小作料を輕減せしむべしと稱し運動費を貪らむとしあらゆる手段を講じて會社事業の進行を妨げんとせり其巨魁と目すべきものは僅か一二名にして他は畢竟附和雷同するに過ぎず東拓會社にては出來得る限り穩便の處置を採りて實地に就き不服なる者は再調查を爲し相當の解決を與ふる方針なる由なるも主謀者は既に憲兵隊の手に拘禁され取調中なり（京通）

●漢江航海と保險率

漢江航路に對しては以前神戶海上保險が大同江と同率を以て保險を扱ひ居りしも一回の失敗に手を燒きし後は本航路共絕對に保險を拒絕し目下の處僅か帝國海上保險か解一隻に就き二千圓の限度にて保險を附するの他全く保險を附せざるより海運業者の不便此上なく自然同江を利用する者尠なきの有樣となりしに顧み淺井商船支店長は先月上坂の節神戶海上保險に交涉の結果過日同社弓削氏の實地視察となりしが弓削氏は一見の上意外に安全なるを認めたりしと就ては同氏復命の上は何れ再び舊態に復さるべきが元來漢口は大同江に比すれば危險多き航路なれば復舊の曉に至るも大同江と同率に取扱はるゝやは疑問なれども保險機關の缺乏せる今日に於て後日は兎に角一時同航利用者の便益寡からざるべしと云ふ

●梅ケ香丸大連航か

杳として其動靜の審かならざる義勇艦梅ケ香丸は目下長崎に繫留しあるが其活動は何時頃なるか關釜連絡船としては某有力者の談る處にては斷じて無かるべく今同船が運航せらるゝ處にては大連航路當局に傳へらるゝ處にては大連航路に從事すべしとの說盛なり而して同船乘組員の家族等は義勇艦隊より引繼後關釜連絡船に從事すべく略決定し居たるより凡て下關に居を構へ昨今の處にては頗る困難せる模樣なりと云ふ

●黃州穀物界の近況

黃州穀物界の近況を聞くに韓人は已に冬期の準備を終へ例の如く金錢の必要を感せざる折柄とて何れも留り惜み又價の昂騰もやあらんとて手放さゝる爲め自然面白き取引なし去れど今暫くせば納稅期に際せると同時に追々舊曆正月に近づくを以て其の支度等の爲め金錢の必要を感じ隨つて面白き取引あるべく先づ夫迄は至極閑散なるべしと

●韓銀大坂支店問題

日銀の大坂に支店設置に就き世間種々の噂あるも當局者の言によれば大坂に支店の設置は極めて切要の事にて往々は無論其積なるも其設置の期日の如きは未だ詮議にも上り居らずと云ふ

●廣島高師生徒渡韓

廣島高等師範學校の地理、歷史本科生徒十三名は敎授重田定一氏外五名の職員に引率せられ修學の爲め往復十二日間の豫定を以て二十五日廣島發渡韓する由因に京城滯在は二十七、二十八の兩日にして二十九日平壤へ向ふ由

●釜山瀛船會社增船

釜山瀛船會社重役會にて更に瀛船一隻を增加して航海業を擴張することを決したる由にて井上同會社支配人は瀛船借入れの要務を帶び既に上阪せりと

●統監令息結婚披露

曾禰統監令息寬治氏は此程伯爵芳川顯正氏令孃鎌子と結婚整ひ今回來京せられしに付き明二十六日午後二時より統監官邸に於て其披露會を催す筈なりと

●大同江の氷上交通

大同江は去る七八日頃一時薄氷凝結したるも再度解流し更に十一日に至り完全に結氷し目下は人馬交通自在なりと

●米國宣敎師平壤行

南大門外濟衆病院に滯在中なりし米國宣敎師夫妻は二十一日平壤に赴けり

民團事件の進行

京城民團解職吏員數名が南部署に拘引されたるに付第二の大坂市役所たらずやと憂慮する向きありて物情何んとなく騷然たる有樣なるが右は南部署に於て狹くに注目せし處にして屢々同吏員等に醜聞あるを聞き込み何時かは檢擧せん者と時機を待ちつゝありしが偶々好機を捉へて取調べに着手せしものにして一は民團の紊亂を維持し一は他の民團に對して覺醒を與へんとするの意なりと尙ほ昨紙民團側の[illegible]警察が着手せし樣記載せ[illegible]

●功勞者銀盃受領　永樂町一丁目山林協會副會頭松下牧男氏は[illegible]殖產興業に功獻鮮からざ[illegible]は大に之を德とし十一月[illegible]て靜岡縣富士郡共有須津[illegible]伊達來氏より三組銀盃を[illegible]

●民團役所の繁忙　京[illegible]ては徵稅吏員等拘引せら[illegible]今深更まで書簿の調查を[illegible]

●石塚長官の慶事　石[illegible]廿一日女兒を分娩し母兒[illegible]

●松井局長の移轉　松[illegible]今回統監府前の官舍へ移[illegible]

●獨逸將校の下仁　ソ[illegible]投宿中の獨逸將校ヘンス[illegible]

●中村光吉氏入京　韓[illegible]店支配人の同氏は廿三日[illegible]

●有賀光豐氏入京　鎭[illegible]同氏は二十三日入京浦尾[illegible]

▲治外法權▼　新參與官が三人出來た曰く小松、曰く池[illegible]の三名何れも國家有用の[illegible]して任に負く勿れ▲菊池[illegible]片として獰猛なる平壤人[illegible]聞紙に現はる、其言ふ所[illegible]ざるに非ずと雖も米國宣[illegible]纂なる排日思想を鼓吹し[illegible]排日思想の鼓吹を布敎の[illegible]たりと稱し且つ米國人は[illegible]ずなど〻斷言したるは平[illegible]似氣なき不穩の言を弄し[illegible]▲さなきだに宣敎師輩が[illegible]も見兼ねまじき今日に於[illegible]中最も著名なる平壤に駐[illegible]留宣菊池君が斯くも前後[illegible]言を爲すとは奇怪至極と[illegible]くなり△現下半島の有す[illegible]題として最もデリケート[illegible]問題なり菊池君の放言に[illegible]師輩の首肯するところと[illegible]若しも不幸にして彼の輩[illegible]事官の放言はアンチミシ[illegible]米國民を侮辱せるものな[illegible]しなば下らぬ事から大問[illegible]池君の引責位にては濟ま[illegible]べし▲李完用要擊事件に[illegible]內田やらが檢擧さるべし[illegible]だつたが記者は此噂の餘[illegible]るに驚かされた、成程日[illegible]へれば一進會が遣つた樣[illegible]がソレは新米刑事の探偵[illegible]人中で政治とか政黨とか[illegible]居る連中には生命を捨て[illegible]を有するものは無い、記[illegible]生命を捨てゝ掛る程は一[illegible]なんぞの圈外に在る韓人[illegible]

不景氣の聲(四)
南大門驛構内車夫

今年も玆へ僅か旬日を剩すのみに押詰つた昨今車夫生活の景況奈何を聽くべく南大門驛に驅付け構内車夫の取締なる**伊藤組**を訪ふた。私の處は鐵道廳の認可を得て營業してゐるので當驛長も監督して呉れ亦私も取締を嚴重にしてゐますので世間に往々ある土地不案内の旅客をして不正の乘車賃を強請したり魔窟に引張込んで不正の手段を以て金錢を捲上ぐる強の如き所謂朦朧車夫は決して使用して居らぬとの事だ。目下**邦人**車夫**十六名**、**韓人**車夫**十四名**都合三十名の挽子で即ち三十臺の備付人力車があるのだが挽子は午前四時一應溜所に出場して其日の働き順番を決定するので夜は午後十時半頃まで客待をしてゐる相な。而して客は皆鐵道廳の指定せられたる乘車賃金表に據りて切符を發賣してゐるのであるが昨今一日一人の挽子が大抵**一二回**しか客がなくして溜所で焚火を燃やして暖を取り徒らに煙草を燻らして浮世話に耽つて居る有樣である。伊藤組が構内の車夫取締をしてから今年で**丁度十年**になるが本年程不景氣の年はないと語つて居た。亦車夫の方も歳末を控ゐながら一日六七十錢位の收入で其内三分は親方に頭から差引されるし、それに夜更けて僅かの賃錢で風邪を罹ひたりなどして二三日は休業する、山の神と餓鬼からは歳暮や新年の小使金を強請せられて**斷腸**の思をするとか聞々ある。獨身者にしても這麼に不景氣ではお心掛のよいものでも新年の法被を一枚新調が出來兼ぬる樣な憐れな境遇であると言ふてゐる。亦取締の方では人力車一臺に就て一ヶ月五十錢の税金を鐵道廳に納付して居るがこれが三十臺で一ヶ月十五圓だがこれを一ヶ年四回に分納するので一度に六十圓納めますが這の不景氣の時に大枚六十圓といふ金を納むるのは私共に取りては一通りや二通りの**困難**ではありませぬとこぼしてゐた。そして毎日朝暗い内から晩の十時過ぎまで客待してゐますが概して客種のある列車は午前八時四十分、午後八時十分釜山發急行列車の到着した時ですが、これは内地からの初渡韓者が比較的多くあるから從て客が多いのであるが、これとても天候の都合で關釜**連絡船休航**などの時があるので左樣、商賣に直く**影響**するので困ります。京城市中を見物案内として一日乘せて廻れば一圓四十錢半日で九十錢だが近年こんな客人は全く絶ねて了つた處を見ると世間一体に不景氣と思はれます。

賊魁李鎭龍と戰ふ
▲頑強なる抵抗を蒙る

去る二十二日白川洞分遣所上等兵土谷直藏は補助員三名を伴ひ黃海道平山郡舟岩面露谷に於て首魁李鎭龍以下崔順玉、金貞煥の卒ふる賊徒三十七名と衝突せしが賊は各自**三十年式**銃單發銃火繩銃を**携へ**頑強に**抵抗**し交戰一時間半に及び**苦戰**なるを以て本所に急を報じ上等兵一名補助員二名の**應援**を得て尙一時間程**强烈なる攻撃**を續けしに乃ち遂に支へ兼ね賊は**山谷を越**へて潰走せしが賊の死者一名負傷者二名にて其場には火繩銃一挺綏徒服一着韓服一着其他雜品數點を遺棄しあり我軍には幸ひに死傷損害なかりし由

刺客金貞益の素性
▲李容九を刺さんとせし

一進會長李容九を刺さんと欲して事成らず一昨二十三日銅峴分署の手に取押へられたる金貞益はこの程迄平壤慶興夜學校に在學し居たるが時局の日に非なるを憤慨し去る十九日兇器を懷にして郷里を出で汽車にて南大門驛に着し附近の歩行客主に一泊したる後中部寺洞表勸院内の某知人方に潜伏し居たるが李在明とは同郷の友にて舊知の間柄なれば一夜互ひに意見を鬪はせしが李は李完用を刺すべしと主張し金貞益は早晩崩壊すべき李内閣の運命を説き寧ろ第二の李完用たるべき李容九を斃すに如かずと意見を述べ遂に各自已が志すところに向つて行動する事となり其儘袂を別ちたるものなりと

●失職せる蠟燭屋

大阪府西成郡勝間村生れの和田萬藏(二〇)と云ふは少き折より蠟燭の製造業に從事し一人前の職人に成り澄したるにぞ同人の姉なる人が資金として百三十圓を出し獨立して業務を開始せんとせしが折も折とて或る惡友に誘はれて難波新地の某樓に登りたるが病付となりて數回通ひ廓に花を咲かする内百三十圓の資金は蠟燭の心から燃へて皆無となりしかば親族其他よりの嚴しき意見聞くを五月蠅がり川口より朝鮮行の汽船に乘込みて仁川に來り花町遊に滯在して然るべき就職口もやと市中を彷徨居る内支那町にて其筋の人に擧動不審と見咎められ誰何せられしに對する口上をザット件の如し

●錢なしの稅關吏

仁川稅關吏綿木某及び共同組店員永富某の兩名は一昨日午後八時頃年末賞與を見越して同地寺町二丁目松山樓に登樓しやれ酒やれ美人と分際にもなき大盡風を吹かし亂痴氣騷ぎに夜の更け行くを知らざりけるが木枯寒く辻占の聲凍る頃ひ同樓を引揚げんとせしも五圓八十錢の勘定を持參せざるにぞ同樓より酌婦一名附馬となりて後に從ひ行く内前記兩名は隨劣にも隙を窺ひて逃げ匿れたりしかば其旨仁川署に訴出で兩名は本署に呼び出されて說諭されしと

●泥醉者の亂暴

龍山漢町番戶不詳岡田組店員神奈川縣生れ平民高田暮一なる者は一昨日午後八時頃一名の同行者某と共に洛洞カルボ屋を素見中十八統四番戶李鐘雨方にて聊かの衝突を起し同行者某は泥醉なし居し事とて該家設置の瓦斯燈及び門戶等を破損なせしかば主人李鐘雨は承知せず同人を同行訴へ出んとせしに某は逃早くも逃走なして行衛不明となりし爲め前記高田暮一を同行訴へ出でしかば說諭の上賠償金七十錢を同人より支出して事濟

●車で溫突を焚く

仁川稻田組下受負堀井龍吉と云ふは數日前土砂運搬車五臺を何者にか竊み取られしにぞ爾來其れとなく犯人を搜索中一昨日午後六時頃花村洞の某韓人方に於て右車體を破毀し溫突内の燃料に供し居れるを發見せしかば直に取押へんとしたるに雲を霞と逃げ失せしかば其旨仁川署に訴出で目下該犯人を搜査中なりと

●クリスマス祝祭

今二十五日は基督降誕祭に相當せるを以て當地各敎會堂に於ては夫れ〳〵祝祭を催さることは既報の如くなるが旭町四丁目日本基督敎會にては同日午後二時より日曜學校生徒祝會同午後七時より大人祝會を敎會堂に於て催すべしといふ

●韓國勞働組意趣

當地黃金町三番戶島田正米氏は襲きに勞働組なる者を組織して一時中止せし處今回亦々之を興し大に日韓人中の勞働者の便益を與ふる由詳細は規程の設けあれば希望者は同氏に就て聞かるべし

●行旅病者の收容

元町三丁目梅月堂店員岡田進之助(四三)は兼て肺窒扶斯の爲め久敷齊波病院に入院中の處昨冬全癒なしたるを以て退院し前雇主を傳り病後を養はんとせしも該梅月堂は閉店して行衛不明となり居し爲め當惑し南部署に救護方を願ひ出しかば取調べの上行旅病者として一昨日本願寺へ送らる

●早咲水仙球の分與

初春の飾花として珍重せらるゝ冬咲水仙の名產地たる信濃國下高井郡延德村の大農園に於ては送料箱代の實費として十八錢を送れば新年早々開花の極濃黃金色千重直徑四寸餘の大々輪咲三球を一鉢分として一般の志望者に頒つ由

●清遊樓の新妓

元龍山桃山遊廓に三五郎と呼びし大分縣生れの本姓田島美智は一昨日新町清遊樓に敎替なし藝名も壽と改めて今晩はありー

●喜久子の廢業

新町京城樓の抱へ喜久子拍子事下關產の本姓岡村せいは今度此度首尾宜く泥足を洗つて廢業

●一昨夜の敷島

遊廓嫖客數は六十八此消費高は百九十四圓なりしと

●南山本願寺例會

廿五日午後七時より同寺に於て土曜日例會說敎あり

各地の新聞

▲漂流韓人の歸國

韓國蔚山船長チンセニハン外四名は本月十日對馬に於て薪を船に積み出發したるに十七日角島沖に於て難破したるを小串署に於て救助し一昨日當市役所の手を經て歸國したり

▲祭日改定

福岡縣早良郡姪濱町愛宕神社にては明年より陰曆削除に就き總べて陽曆による事とし月並小祭を毎月廿四日とし大祭日割を左の如く改定したり

▲正月祭 一月二十三四兩日▲春祭 四月二十三四兩日▲秋祭 九月二十三四兩日

又遠賀郡長津村岩瀨須賀神社にては明四十三年より祭典日を左の通り定めり

▲一月自一日至七日 正月祭▲四月自十三日至十五日 春祭▲七月自十三日至十五日 祇園祭(十三日夕御神幸)▲十月自十九日至二十一日 秋祭

▲遭難警部等敍勳

別項掲載臺東大南社附近露營中通事鄭正基の爲に負傷したる平野、川口の兩警部は二十一日左の如く敍勳ありたり

敍勳七等授靑色桐葉章 臺東廳警部 平野治一郎

敍勳八等授旭日桐葉章 臺東廳警部 川口亥四郎

▲警務課長を殺害

臺東廳警務課長平野治一郎警部川口伊四郎生蕃山探險の途中發狂者の爲めに去る十四日殺害さる加害者は生蕃語通辯の爲め隨行せる土人にて其他三名にも重傷を負はせ同行の生蕃等憤慨し之を銃殺す

▲糠味噌桶から金

岩手縣西岩手郡山田村大字鍛冶鈴木玉代(三十)は昨年三月中東京府下北豐島郡板橋町字下板橋酒商石川一元方へ下女奉公に住み込み以來實直に立働き居りしが先頃來頻りに國許へ歸りたしと思へど旅費のなきより惡心を起し十八日同家雇人大川万之助(十九)の金九圓を竊取したるを板橋署にて探知し翌日玉代を拘引し嚴重に取調べたるに全く自分が竊取し其內一圓は小間物類を買求め殘金八圓は細紐に縫ひ込み置き尙先頭より主人の金を數回に三圓餘を竊取し其殘は悉く糠味噌桶へ入れ置きしと迄自白せしより廿日檢事局送り

◀平民文庫▶

▲過る夜一人の二十前後の靑年が或る所を通りかゝると不意に後より名を呼ぶ三十前後の美人がある、色々彼の靑年を口說いて居たが焦れて居るらしい處が靑年は一言私は將來大に志す處があるいかで斯かる惡戲に耽けられましようとか諦めて下さいとか云ふて通り過ぎたが實に感心な靑年だ大丈夫ではあるけれど旭町の三四丁目邊の子持の親は用心なさい(一老人)▲壽町の三丁目に在る病院の靑い面した下女と此頃雇はれた料理人とが怪しい契りを結んで居るのですがね、今の內に二人とも出さぬと主人の爲めに成りませんよ(立聞女)▲橫着店員、惡店員の多き京城では店員改良の端緒として仁川の店員將勵會の如く純粹の模範店員即ち忠勤者を具体的に詮考して表彰し主客の爲めに不利なる彼の惡店員を淘死せしめなば京城市場は益々繁盛するならんと僕は思ふが京城繁榮會員諸士は以て如何となすや(新進實業家)▲鐘路大道の中程にある某役所では十月頃に呉れた賞與の金を未だに拂つてやらないと云ふ事だいくら統監府側になつたとて未だに整理が出來ないとも云はれまい、あまり壓制すると係の人をもてませんよ、是れを監督するものは嚴重にしないと其の外色々の事がありますよ當局者いくら下級者たりとも壓制すれば自己の身が續きませんよ御一考あらんことを(同情生)▲常に小言の絶へざる丸京吳服店は愈々鹿太郎派と尾花派と分裂して尾花は引續き同店を經營するに決した尤も丸京とは全然無關係となる樣である、處が鹿太郎派に屬せる、井上外二三名の店員は之を面惡く思ひ頻りに尾花一派を陷入れんと苦策中である、鹿太郎が引揚げたら其派の店員は翌日から傘を擔つぐは勿論の事であるのに何故に機嫌に反對するかと云ふど同店の引揚げの際は何れも腹を肥やすが常にて、曾つて廣島支店引揚の際も名々思ひ〳〵に懷を肥やしたそうだ、彼等一派も又之れを夢みて居るのであらふ(小僧)

談演說會は其の筋の命に依り延期す

今廿五日當地歌舞伎座に於て開催の筈なりし本會主催時事問題政談演說會は其の筋の命に依り延期す

二十五日　時局問題研究會

刺繍模様 (新年の雪 生ゑり ふくさ)

歳暮御進物用適當品荷着

明治町一丁目 電話千四百九番

ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし 氏名在社(四九〇)

●望勤務 病院又は醫院藥局へ ケーチー生(四九三)

●年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物產京城支店

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻椽二階六疊二間廻椽井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齋洞廿九の四貸家あり宮內府其他韓國側各官衙には便益の地希望に應じ賄差上候

●貸家 京城吉野町間數四間湯殿付官吏又は會社員向希望者は電七四番へ

●電話讓渡したし 氏名在社(四九六)

電話付き貸間あり 南山町二ノ一〇一 福井

廣告

開業廣告

拙者儀是れ迄京城理事廳に在勤罷在候處今般司法權委任の際を機とし其の職を辭し京城旭町二丁目百六十四番地理事廳東通に事務所を設け代書及仲介業に從事し左の件々叮嚀親切を旨とし取扱ひ候間何卒御愛命被下度願上候也

一、理事廳警察署民團役所裁判所に關する出願書式の代書
一、訴訟鑑定契約書起案
一、諸會社定款の作成
一、登記及明細一切
一、電話賣買の仲介
一、土地家屋賣買の仲介
一、土他家屋鑛山の測量及製圖

京城旭町二丁目百六十四番地

本多貞策

京城勸商場新築落成

來る二十八日より開場致候間場內店舖賃借御希望の方は勸商場向側下川旅館內假事務所へ御申込ありたし

十二月廿二日

京城勸商場主 三輪唯八

事務員 松川逸丸

植島 御料理店

永樂町二丁目赤門前

電話開通 壹四八五

牛鍋 スキヤキ

御鍋一人前金五錢

御酒壹本金五錢

建具 硝子板 諸物品 龍山榮町

電話開通 五三九番

渡邊商店

◉新漬大根大賣出

◉新漬澤庵◉白菜漬◉奈良漬

農商工部園藝模範場御下品

官製塩元賣捌○農具器具一式○肥料○種苗○薪炭○日用雜貨○家具○工業農業消耗用物品一式

諸官衙御用達

京城本町一丁目(長谷川町筋)

三輪商會 電話三八六番

論より證據 一割引

原料 價格 技術 三大勉强

京城旭町一丁目

金川靴店

試しあれ 一割引

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

石川高等法院判事閣下校閲 今村內部警務局長閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志を存して些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存し隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此期間に於て御購入の御方に限り前回豫報の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん臆胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

貸席 鐵冷温泉

京城本町二丁目郵便局前

電話千四百十一番

神戶資生分院

京城梅毒病院

京城相生町(南門湯横)

◎花柳病專門並、痔(注射療法)

●入院隨意●

院長 醫學得業士 廣田耕平

(電話一二九四)

米 明治廿年七月創立

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

資本金一千萬圓

東京海上運送保險株式會社

事務所 京城本町二ノ三 電話一〇六〇番

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行

危險擔保附運送 品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番

仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番

釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 草梁驛前 電話五一六番 電話六三七番

龍山出張所 龍山驛構內 電話二〇六番

電話開通 一三九四番

鋤燒 御一人前 金二十五錢

此の外何んでも輕便と安直とを以て御客樣には極て叮嚀と親切に御つとめ申上ます故に忘年宴會や新年宴會には何卒御遊旁御光來の榮を賜り度奉願候

京城北米倉町

會席御料理 花の家

▲忘年新年宴會は梅の家に限る▼

……破天荒の大勉强……

どんな少數の御宴會でも丁寧に、何程多數の御宴會でも粗忽のなきことは梅の家の獨擅ですか、取り分け忘年宴會、新年宴會は破格の廉價で輕便に、氣樂に召上られます樣に御つとめ申上ますから御光來の榮を賜はり度御願申ます

御料理 大和町三丁目(電話七三五)

梅の家

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

(電話一一一五番)

●電話開通 八百三十五番●

唐津石炭直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五

南大門高等女學校裏通り

近藤商店

[illegible]

開院廣告

本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應ず

診察時間午前九時より正午に至る

外科花柳病科 前漢城病院長 ドクトルメヂチーネ 和田八千穗

內科小兒科 自午後一時至午後四時 前仁川病院長 醫學士 松村三省

眼科內科 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎

耳鼻咽喉科 自午後二時至四時(但し毎月四回一日五日十五日廿五日) 醫學得業士 赤羽學

婦人科 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ瀨健六

龍山居留民團囑托

龍山榮町(文平山麓)

龍山醫院

京城光化門通

淺田洋服店

店主 大島彝藏

(電話四百十三番)

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢 散劑一オンス入(一瓶)一圓二十錢

蛋白脂消化 ゲスチンヂ 錠劑十日分(三十瓶入一瓶)三十錢 散錠一オンス入(一瓶)二圓四十錢

右は最近內地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候 各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥

韓國一手賣捌元 京城光化門通

大島專藏

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

大上商店

京城本町五丁目

(電話二五一番)

和洋酒、◎燒酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒稀特約販賣、尙御望に依り商品切手調進仕各

京城大和町一丁目

牛乳 滋養 消毒

□山牧場

電話一三三

[illegible]

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

京城南大門通

株式會社十八銀行 京城支店

(電話四二〇)

本店 長崎市榮町

支店 出張所 大阪、熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐

京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山

韓國 日本

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引あり

貯蓄預金(一圓以上何程にても御預り申候)(利息日步壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理

(十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行 韓國京城支店

京城本町二丁目十五番戶 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名松阪、

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七尾、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、

山陰道 大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、鞆、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱、

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南、

淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羣州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 仁川廣告 電話十番

瀛船出帆

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 電話三九番

郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 一月十五日後三時出

●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月 三日午前六時出

●大連行 酒田丸 一月 三日正午時出

●釜山出帆 元山、淸津、浦潮行 神立丸 十二月廿九日午後時出

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎艀外に御乘艀ハ[illegible]